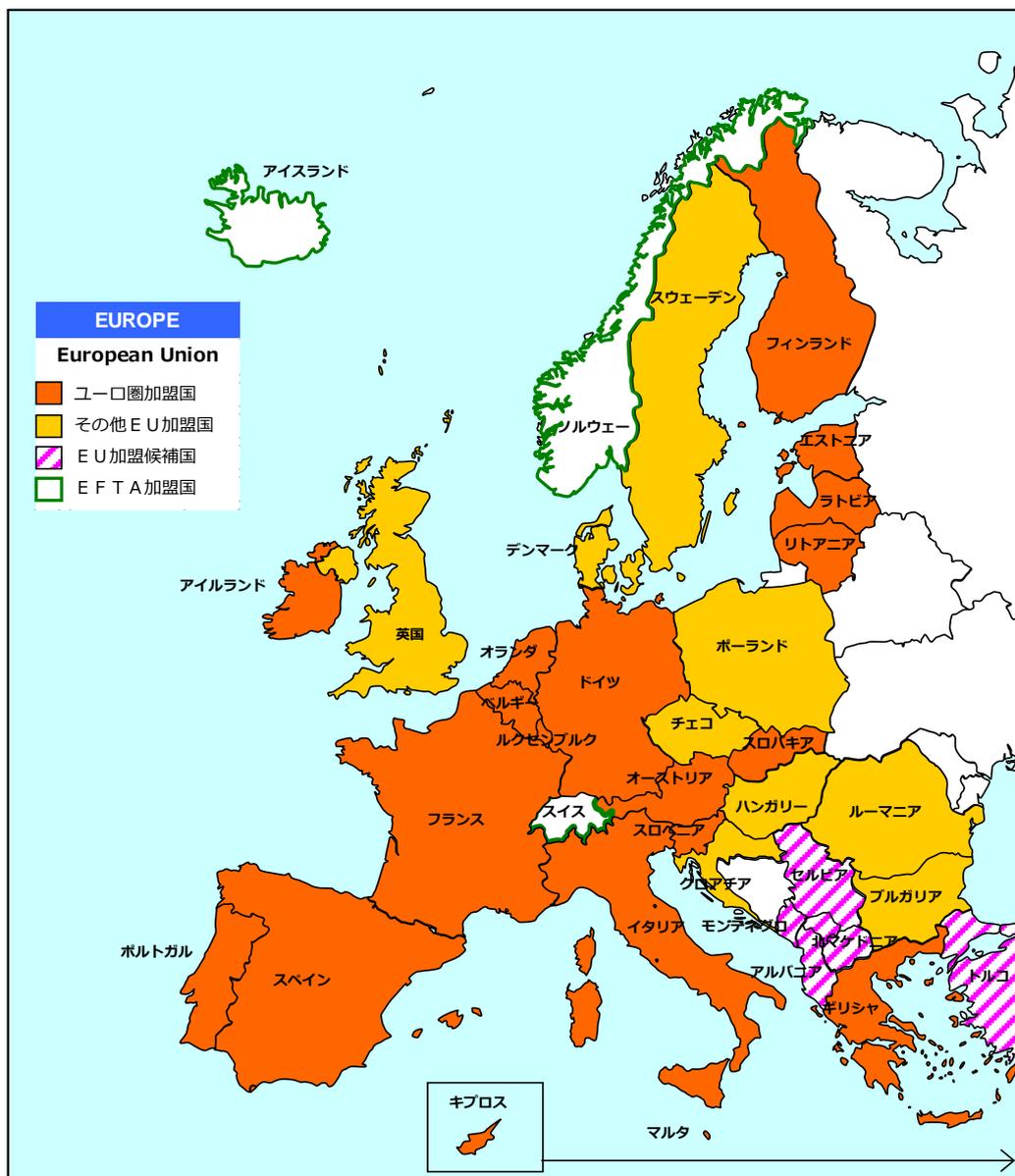


2019年4月23日 全13頁

【最終号】<sup>1</sup>

# 欧州経済アップデート (2019.4)

経済調査部  
研究員 矢澤 朋子



出所：三角形「白地図専門店」サイトより大和総研作成

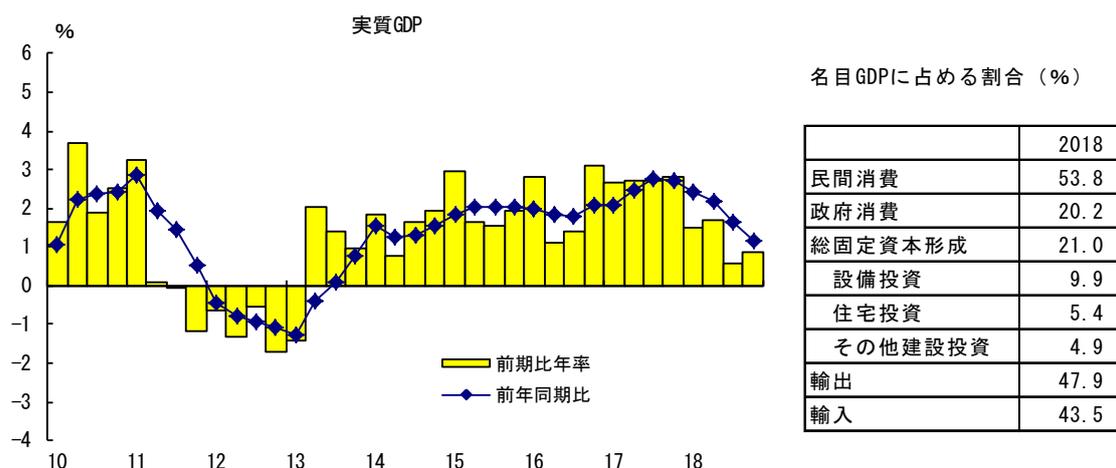
図表作成：リサーチ業務部データバンク課

<sup>1</sup> 「欧州経済アップデート」のレポートは今回は最終号となります。今後は、欧州経済に関連するトピックスレポートを充実させていく所存です。各種レポートは大和総研のウェブサイトでご覧いただけます。

<https://www.dir.co.jp/report/index.html>

## ユーロ圏 GDP

- 18年Q4の実質GDP成長率（確報値）は前期比+0.2%と改定値から変わらず。ただし、需要項目別の内訳に修正が加えられた
- 総固定資本形成は、改定値の前期比+0.6%から同+1.3%に上方修正された。内訳の設備投資が同+0.4%から同+1.7%に上方修正されたため
- 輸出及び輸入も揃って上方修正されたが、輸入の上方修正の方が大きかったため、純輸出の寄与度は同+0.2%ptから同+0.1%ptに縮小した



ユーロ圏の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	16Q1	16Q2	16Q3	16Q4	17Q1	17Q2	17Q3	17Q4	18Q1	18Q2	18Q3	18Q4
実質GDP	0.7	0.3	0.3	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7	0.4	0.4	0.1	0.2
個人消費	0.6	0.2	0.4	0.6	0.4	0.5	0.5	0.2	0.5	0.2	0.1	0.2
政府消費	0.8	0.3	0.2	0.4	0.2	0.4	0.5	0.2	0.1	0.4	0.0	0.7
総固定資本形成	0.7	1.3	0.7	1.4	-0.7	2.2	-0.1	1.1	0.2	1.6	0.5	1.3
設備投資	0.7	2.2	0.2	1.6	-2.2	3.4	-1.8	2.1	-0.2	1.7	0.8	1.7
住宅投資	1.5	1.4	1.6	1.3	0.9	1.5	1.0	1.0	0.6	1.0	0.8	0.6
その他建設投資	0.0	-0.8	0.8	1.1	1.2	0.0	2.8	-0.9	0.4	1.8	-0.5	1.1
輸出	0.6	1.2	0.4	1.5	1.8	1.0	1.3	2.1	-0.6	1.1	0.2	1.2
輸入	0.7	1.1	0.7	1.9	0.6	1.2	0.4	1.5	-0.2	1.1	1.1	1.1

ユーロ圏の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

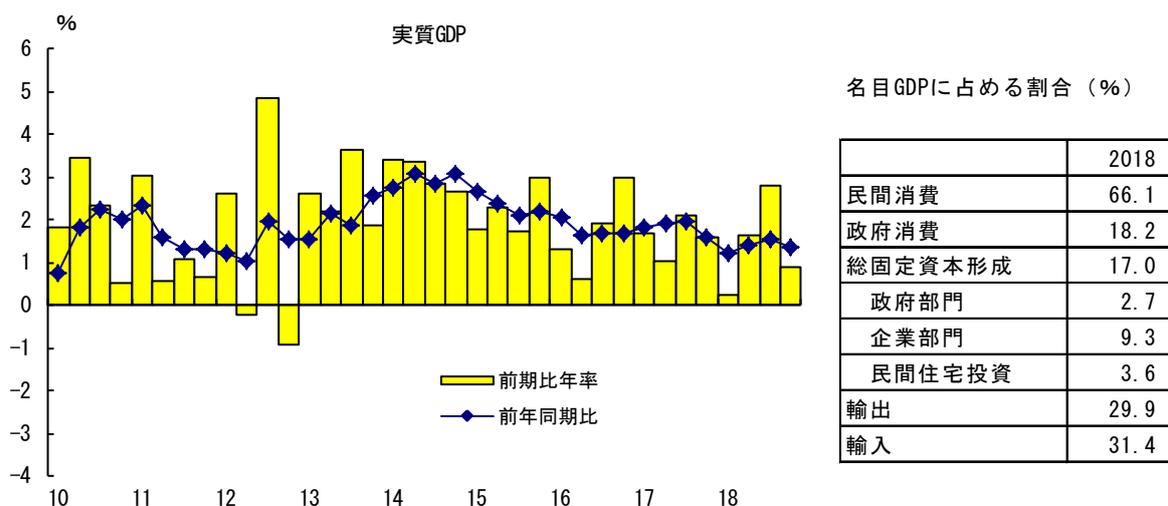
	16Q1	16Q2	16Q3	16Q4	17Q1	17Q2	17Q3	17Q4	18Q1	18Q2	18Q3	18Q4
実質GDP	0.7	0.3	0.3	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7	0.4	0.4	0.1	0.2
個人消費	0.3	0.1	0.2	0.3	0.2	0.2	0.3	0.1	0.3	0.1	0.1	0.1
政府消費	0.2	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1
総固定資本形成	0.1	0.3	0.1	0.3	-0.1	0.4	-0.0	0.2	0.0	0.3	0.1	0.3
設備投資	0.1	0.2	0.0	0.2	-0.2	0.4	-0.2	0.2	-0.0	0.2	0.1	0.2
住宅投資	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0
その他建設投資	0.0	-0.0	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1	-0.0	0.0	0.1	-0.0	0.1
在庫変動	0.1	-0.2	0.1	0.2	-0.0	-0.1	-0.1	-0.1	0.3	-0.1	0.4	-0.4
輸出	0.3	0.6	0.2	0.7	0.8	0.5	0.6	1.0	-0.3	0.5	0.1	0.6
輸入	-0.3	-0.5	-0.3	-0.8	-0.2	-0.5	-0.2	-0.7	0.1	-0.5	-0.5	-0.5
純輸出	-0.0	0.1	-0.1	-0.1	0.6	-0.0	0.5	0.4	-0.2	0.0	-0.4	0.1

出所：Eurostat、Haver Analytics データより大和総研作成

\*このレポートに掲載しているユーロ圏データに関するおことわり  
 ユーロ圏とは、EU加盟国のうち単一通貨ユーロを導入し、金融政策を欧州中央銀行（ECB）に委ねている国々のこと。15年1月にリトアニアが19番目の加盟国となった。このレポートに掲載されているユーロ圏のデータは、14年以前のデータもすべて19カ国ベースである（Eurostatが19カ国ベースの遡及データを公表）。

## 英国 GDP

- 18年Q4の実質GDP成長率（確報値）は1次発表の前期比+0.17%からわずかに上方修正され、同+0.22%となった。Q3の成長率も同+0.62%から同+0.69%に上方修正された
- Q4の上方修正の要因は、在庫変動の寄与がプラスに転換したこと。さらに、輸出が上方に、輸入が下方に修正され、純輸出のマイナス寄与が縮小したことである
- 12-2月のGDP成長率は前期比+0.3%と11-1月と変わらず。サービス業は減速した一方、鉱工業は18年8-10月以来の同プラスに転じた



英国の需要項目別GDP成長率（前期比：%）

	16Q1	16Q2	16Q3	16Q4	17Q1	17Q2	17Q3	17Q4	18Q1	18Q2	18Q3	18Q4
実質GDP	0.3	0.2	0.5	0.7	0.4	0.3	0.5	0.4	0.1	0.4	0.7	0.2
個人消費	1.1	0.8	1.1	0.0	0.7	0.4	0.5	0.3	0.5	0.5	0.3	0.3
政府消費	0.4	-0.1	0.0	0.0	-0.6	0.5	0.1	0.0	0.2	-0.4	-0.1	1.3
総固定資本形成	-0.0	1.6	1.5	-0.6	1.0	1.9	0.3	0.7	-0.8	-0.6	0.9	-0.6
政府部門	-1.2	8.4	2.5	-4.6	-0.4	7.5	-1.9	-0.3	-1.6	-0.9	6.3	0.5
企業部門	-1.7	0.9	1.5	-1.0	-0.2	1.3	0.9	0.4	-0.6	-0.4	-0.6	-0.9
民間住宅投資	3.2	1.1	1.9	1.6	4.7	-0.3	1.2	4.9	1.5	2.0	0.4	-1.0
輸出	-0.9	0.9	-3.2	6.6	0.2	1.2	1.9	0.1	-1.3	-1.0	0.9	1.6
輸入	-0.4	0.6	3.1	0.2	0.9	0.9	0.6	-0.6	-0.6	0.4	0.7	2.1

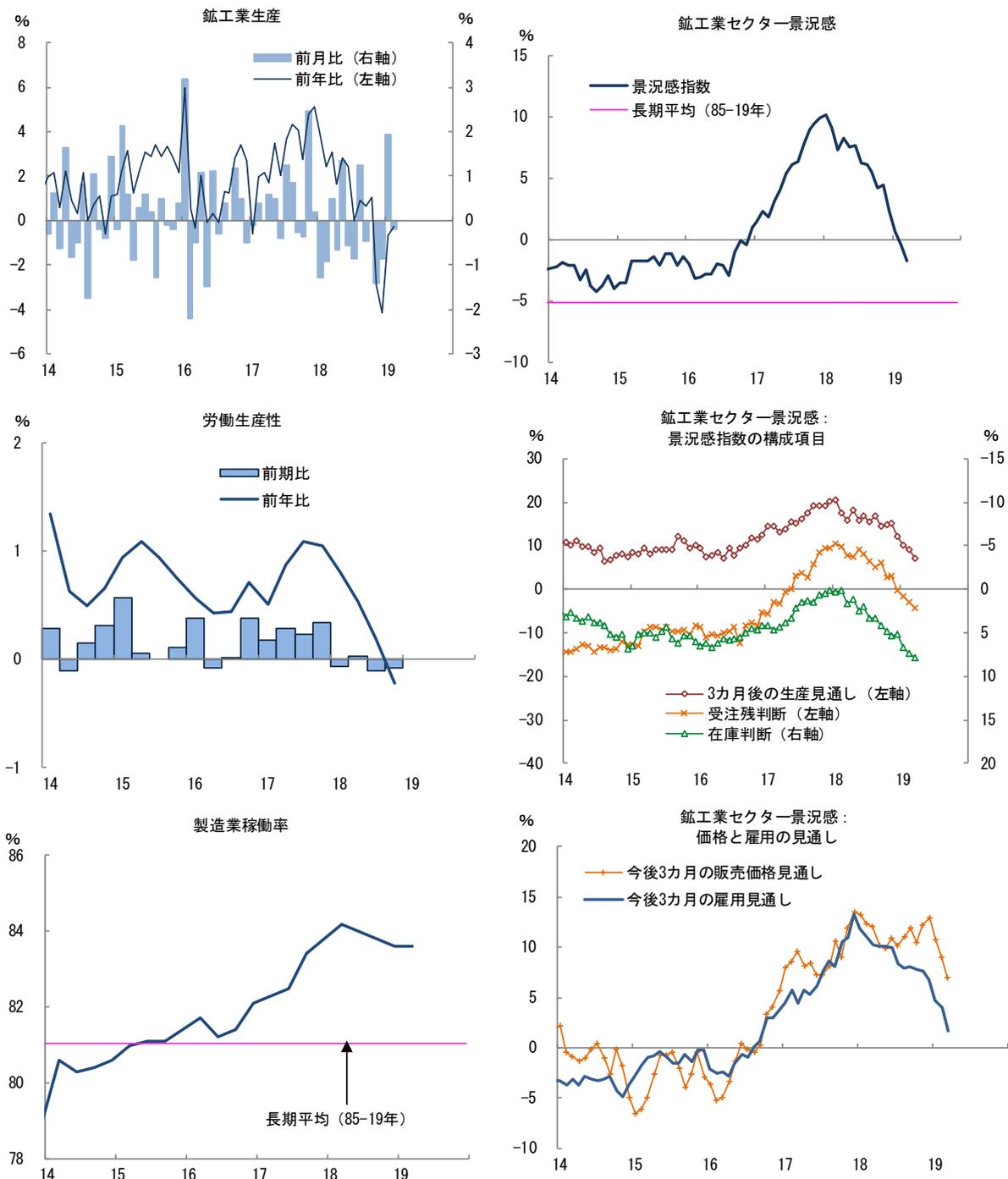
英国の需要項目別GDP寄与度（前期比：%）

	16Q1	16Q2	16Q3	16Q4	17Q1	17Q2	17Q3	17Q4	18Q1	18Q2	18Q3	18Q4
実質GDP	0.3	0.2	0.5	0.7	0.4	0.3	0.5	0.4	0.1	0.4	0.7	0.2
個人消費	0.7	0.5	0.7	0.0	0.5	0.2	0.3	0.2	0.3	0.3	0.2	0.2
政府消費	0.1	-0.0	0.0	0.0	-0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	-0.1	-0.0	0.2
総固定資本形成	-0.0	0.3	0.2	-0.1	0.2	0.3	0.0	0.1	-0.1	-0.1	0.1	-0.1
政府部門	-0.0	0.2	0.1	-0.1	-0.0	0.2	-0.1	-0.0	-0.0	-0.0	0.2	0.0
企業部門	-0.2	0.1	0.1	-0.1	-0.0	0.1	0.1	0.0	-0.1	-0.0	-0.1	-0.1
民間住宅投資	0.1	0.0	0.1	0.1	0.2	-0.0	0.0	0.2	0.1	0.1	0.0	-0.0
在庫変動	0.2	-0.6	1.0	-0.1	-0.4	-0.4	-0.2	-0.1	0.0	0.6	0.3	0.0
輸出	-0.3	0.3	-0.9	1.8	0.0	0.4	0.6	0.0	-0.4	-0.3	0.2	0.5
輸入	0.1	-0.2	-0.9	-0.0	-0.3	-0.3	-0.2	0.2	0.2	-0.1	-0.2	-0.6
純輸出	-0.1	0.1	-1.8	1.8	-0.2	0.1	0.4	0.2	-0.2	-0.4	0.0	-0.2

出所：英国統計局、Haver Analytics データより大和総研作成

## ユーロ圏 生産

- 2月の鉱工業生産は前月比で-0.2%と再びマイナスに転じた。1月に好調であったPC・電機・光学製品及び電気・ガス等の生産がマイナスに転じたのが主要因
- 前年比では-0.3%と減少幅が縮小。電気・ガス等やPC・電機・光学製品の生産が落ち込むも、輸送機器生産は7カ月ぶりの同プラス、化学・基礎医薬品等の生産は加速した
- 3月の鉱工業セクター景況感指数は前月比で悪化が続き、16年8月以来の低水準。すべての構成項目が悪化した

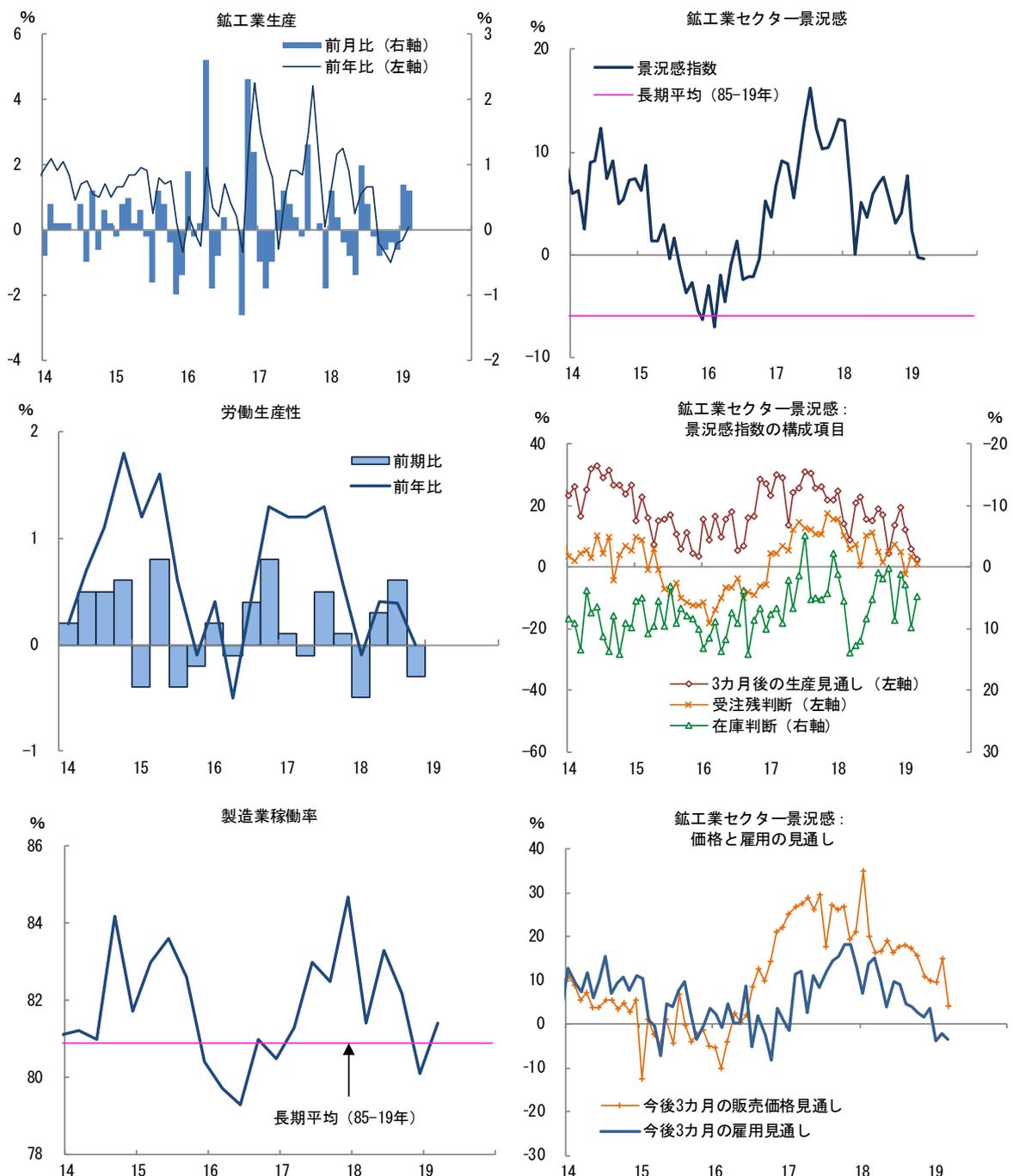


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、ECB、欧州委員会データより大和総研作成

## 英国 生産

- 2月の鉱工業生産は前年比+0.1%と6カ月ぶりに増加に転じた。製造業生産のプラス転換が主因で、中でも食品・飲料・たばこ、ゴム・プラスチック・非金属の寄与が目立つ
- 前月比では+0.6%と1月に続いて高水準の伸び。2月の平均気温が統計開始以来2番目に高かったため電気・ガス等の生産は減少に転じたが、鉱業・採石生産が増加となった
- 3月の鉱工業セクター景況感は前月比での悪化が続く。構成項目のうち在庫判断のみ改善に転じており、「合意なきEU離脱」に備え在庫を積み増す過程にあったことを示唆している

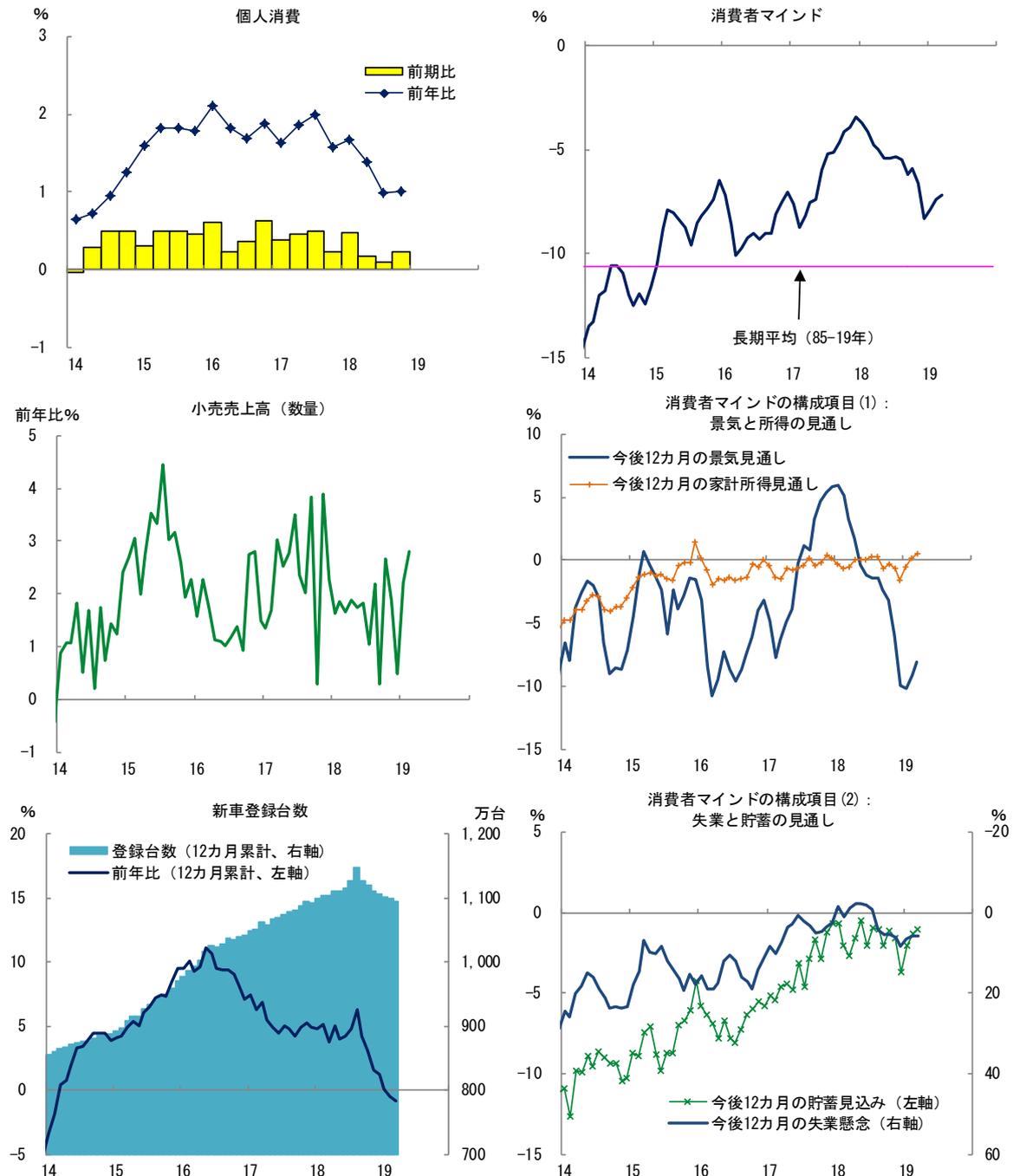


注：鉱工業セクター景況感の在庫判断は逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、Eurostat、欧州委員会、Haver Analytics データより大和総研作成

## ユーロ圏 消費

- 2月の小売売上高（数量）は前年比+2.8%と高水準の伸びが続く。燃料を除く非食品売上が17年11月以来の大幅増を記録し、中でもPC・ソフトウェア・通信機器の伸びが目立つ
- 3月の新車登録台数は12カ月累計で前年比-0.8%と2カ月連続のマイナス。単月でも同一4.4%と18年9月以降前年割れが続く。しかし、Q1では3四半期ぶりに前期比で増加した
- 3月の消費者マインドは、3カ月連続の前月比改善。構成項目のうち、景気見通し、家計所得見通し、貯蓄見込みが改善した

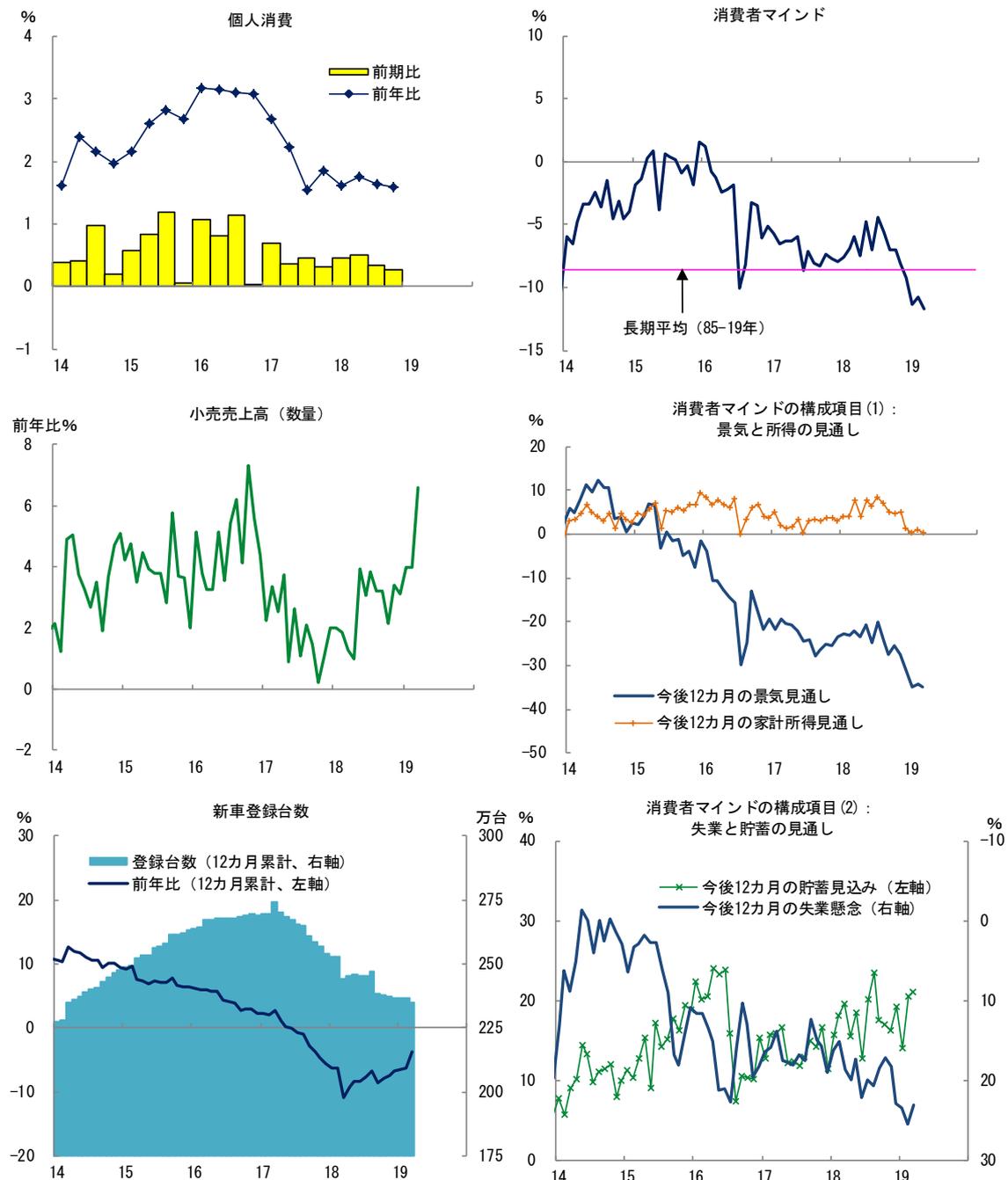


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：Eurostat、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

## 英国 消費

- 3月の小売売上高（数量）は前年比+6.7%と16年10月以来の高い伸び。積雪や氷点下の気温により売上が伸び悩んだ18年3月の反動増もあるが、Q1でも同+4.8%と大きく加速
- 3月の新車登録台数は単月で前年比-3.4%と再び前年割れに転じるも、12カ月累計では同-3.7%と減少幅が大きく縮小した。Q1では、前期比で大幅な増加に転じている
- 3月の消費者マインドは前月比で再び悪化。構成項目の動きはまちまちで、貯蓄見込み及び失業懸念は改善するも、景気見通し及び家計所得見通しは悪化している

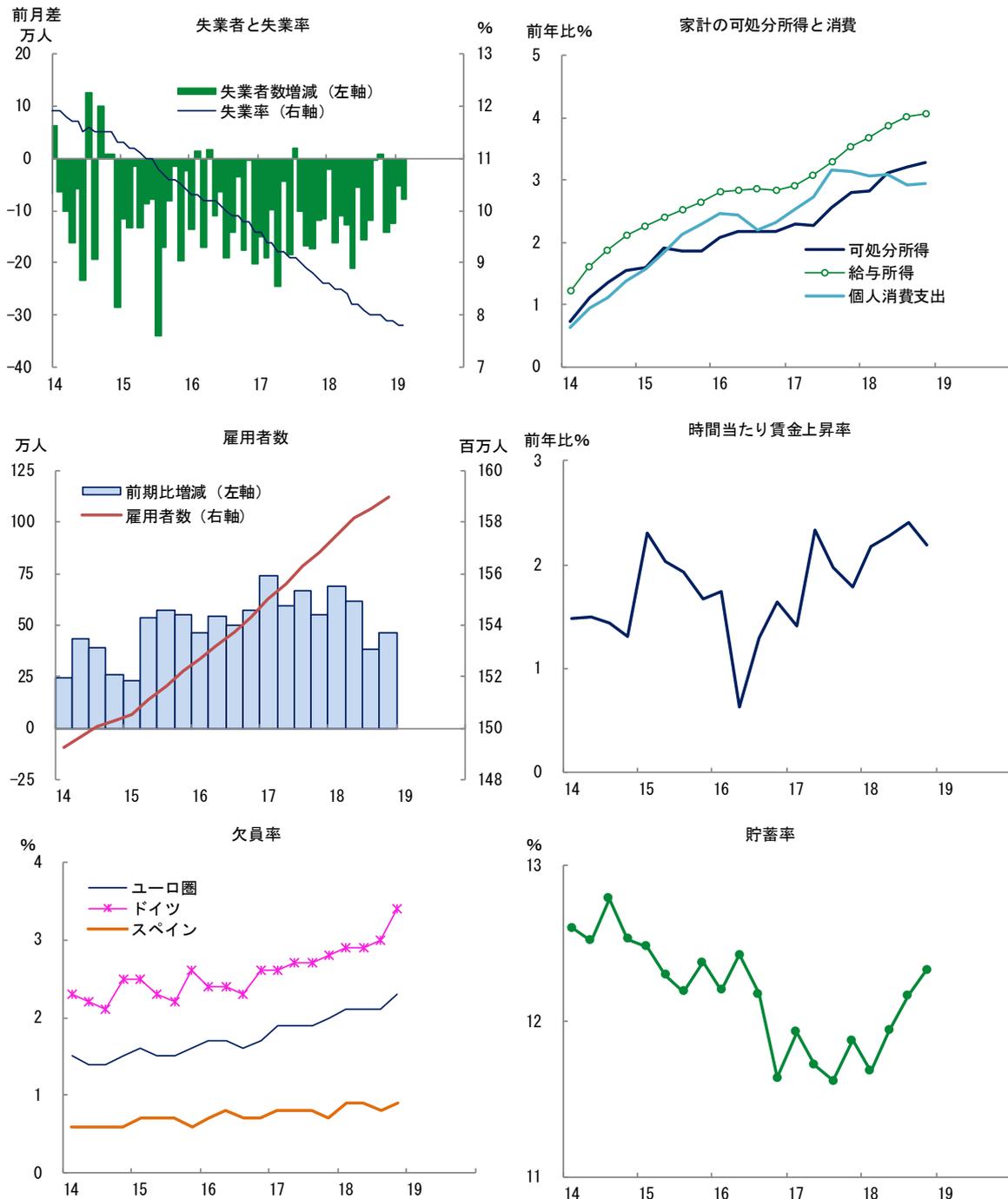


注：消費者マインドの構成項目は「大いに良くなる（増加する）」、「良くなる」、「変わらない」、「悪くなる」、「大いに悪くなる（減少する）」の5つの選択肢から選ばれた回答を加重平均したもの。失業懸念のみ逆目盛（数値が小さいほど、景況感としては良好）

出所：英国統計局、欧州委員会、ACEA データより大和総研作成

## ユーロ圏 雇用・所得

- 2月の失業率は7.8%となり、1月と同様08年10月に並ぶ低水準。失業者数は前月比での減少が続く
- Q4の家計の給与所得は前年比+4.1%、可処分所得は同+3.3%と緩やかな加速が続く
- Q4の個人消費支出は加速に転じた。ただし、Q3の前年比+2.9%から同+3.0%と所得に比べて伸び幅がわずかであったため、貯蓄率はQ3の12.2%から12.3%に上昇した

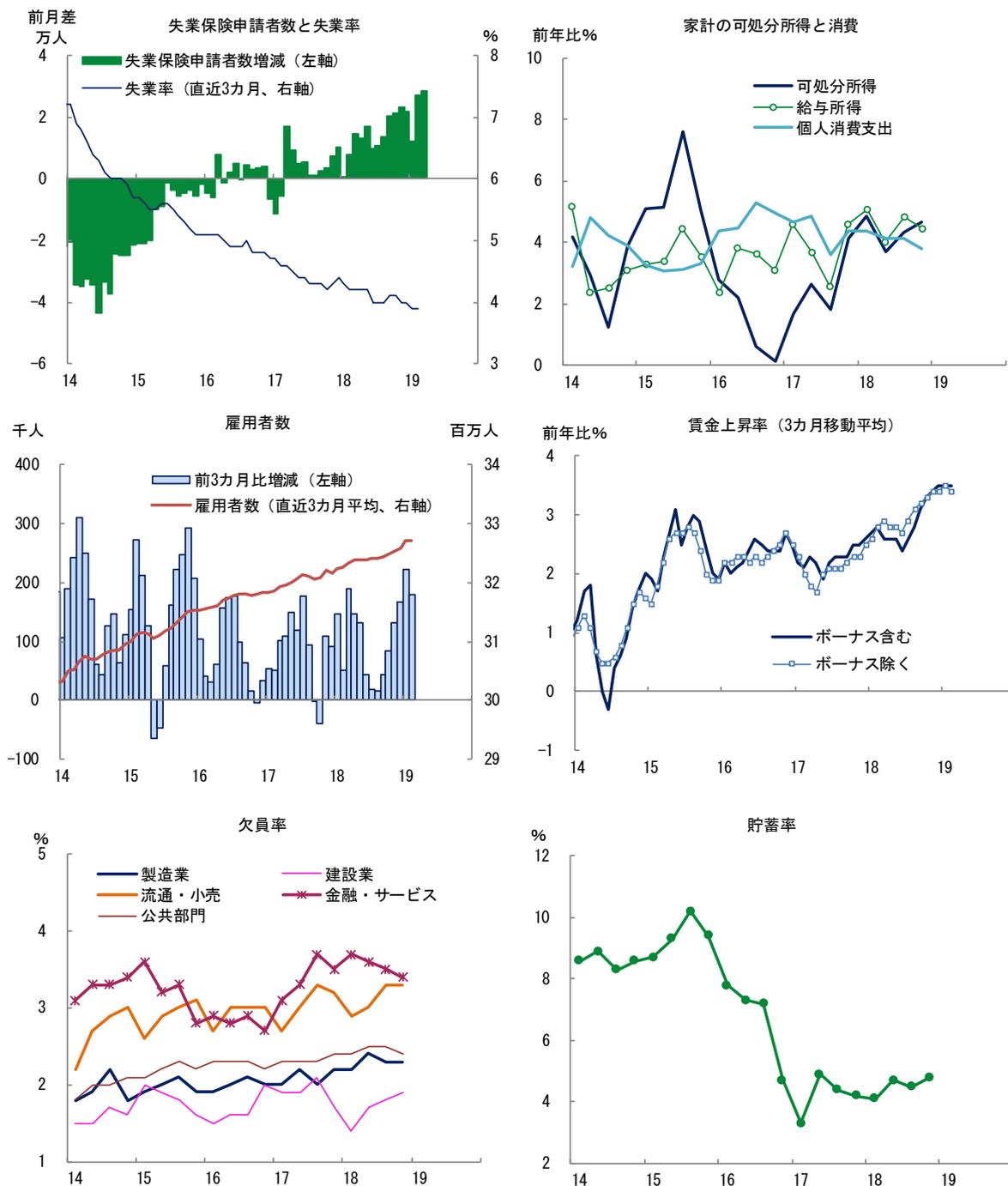


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = Number of job vacancies / (Number of occupied posts + Number of job vacancies) \* 100

出所：Eurostat、Haver Analytics、ECB データより大和総研作成

## 英国 雇用・所得

- 12-2月平均の失業率は11-1月から変わらず3.9%。74年12月-75年2月平均以来の低水準。雇用者数は71年の統計開始以来の最高を更新した
- 12-2月平均のボーナスを除く賃金上昇率は前年比+3.4%と高水準が続く。セクター別では、保健衛生・社会事業、管理・支援サービス、宿泊・飲食の寄与が大きい
- Q4の給与所得は前年比+4.4%に減速する一方、可処分所得は同+4.7%と加速が続く。個人消費支出は同+3.8%に減速し、貯蓄率は4.8%に上昇した

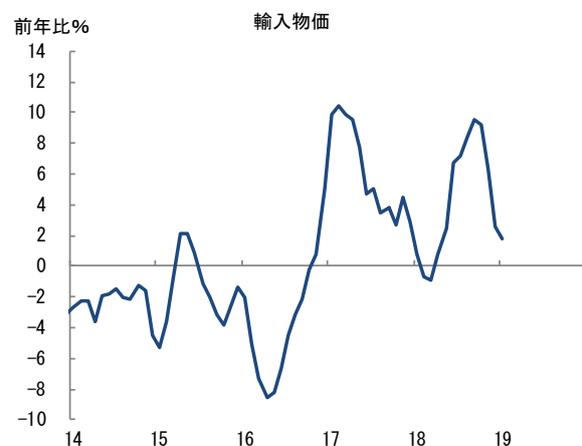
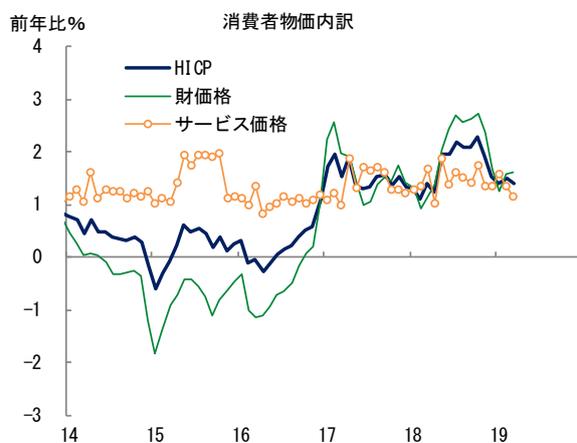
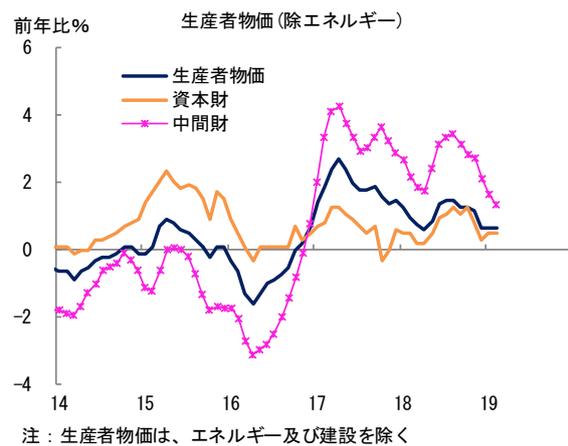


注：欠員率 (Job Vacancy Rate) = Number of job vacancies / (Number of occupied posts + Number of job vacancies) \* 100

出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成

## ユーロ圏 物価

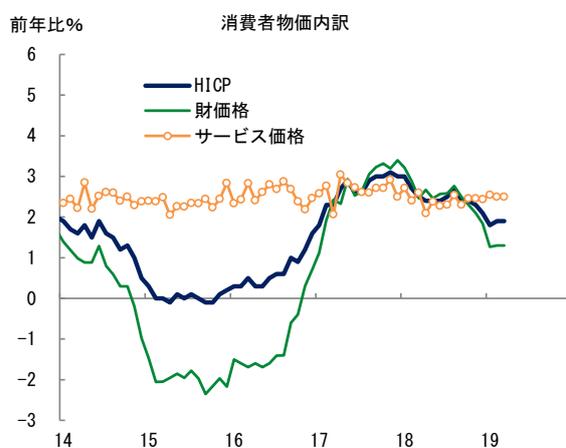
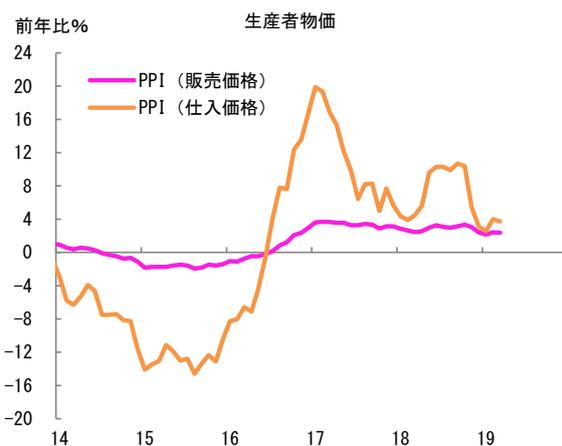
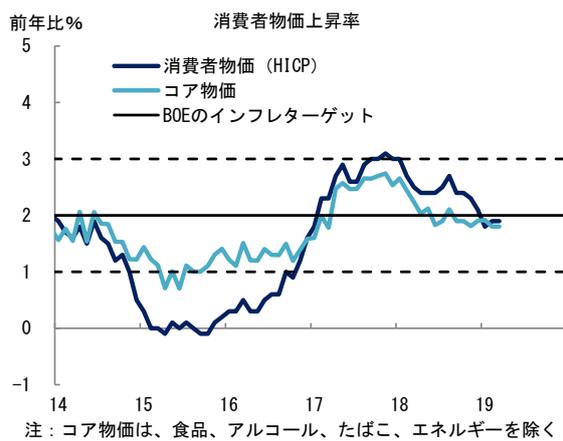
- 3月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比+1.4%に減速。エネルギー価格の牽引により財価格が加速する一方、サービス価格は減速。コア物価上昇率は同+0.8%まで減速した
- 2月の生産者物価上昇率は前年比+0.7%。電気・ガス等が引き続き最大の寄与となったのに加え、石油・石油精製品価格が同プラスに転じた
- 1月の輸入物価は前年比+1.8%に大きく減速。1月時点では原油価格は前年割れとなっていたため、鉱物燃料等の価格が同マイナスに転じた



出所：Eurostat、ECB、Haver Analytics データより大和総研作成

## 英国 物価

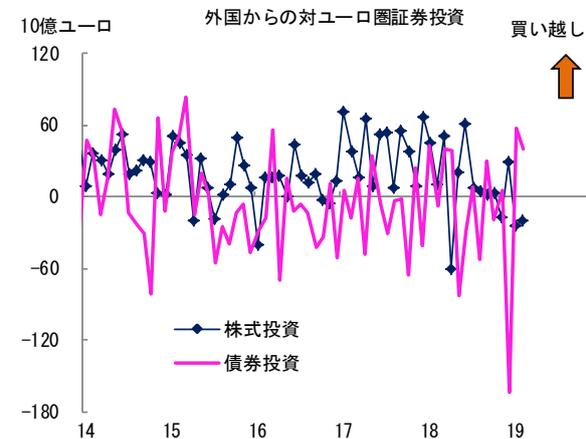
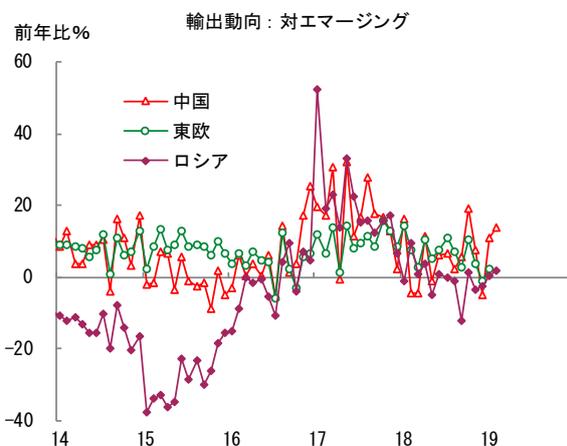
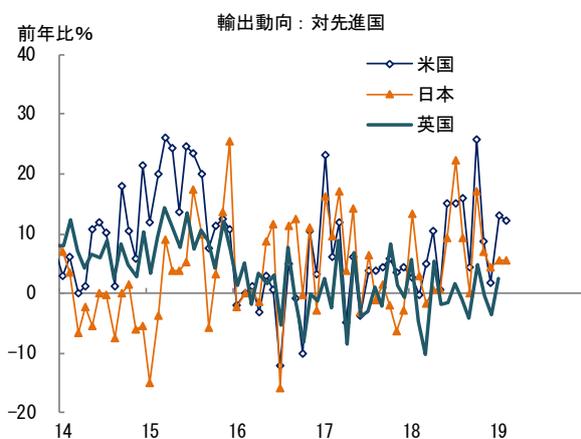
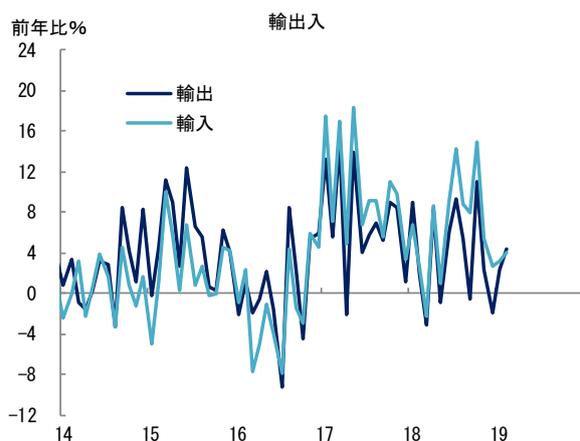
- 3月の消費者物価（HICP）上昇率は前年比+1.9%、コア物価上昇率は同+1.8%と共に2月から変化なし。輸送及び宿泊・飲食の価格は加速したが、娯楽の価格は減速した
- 3月の生産者物価のうち、仕入価格は前年比+3.7%に減速。原油等及び輸入金属の価格は加速する一方、それ以外は総じて減速もしくは低下した。販売価格は同+2.4%と横ばい
- 2月の輸入財デフレーターは前年比+1.4%と5カ月ぶりの加速。石油（原油及び石油製品）価格が3カ月ぶりに前年割れを脱したのに加え、石油以外の燃料価格も大きく加速した



出所：Eurostat、英国統計局データより大和総研作成

## ユーロ圏 国際収支

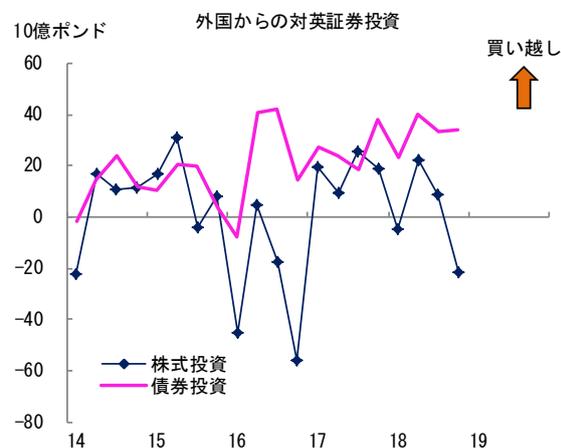
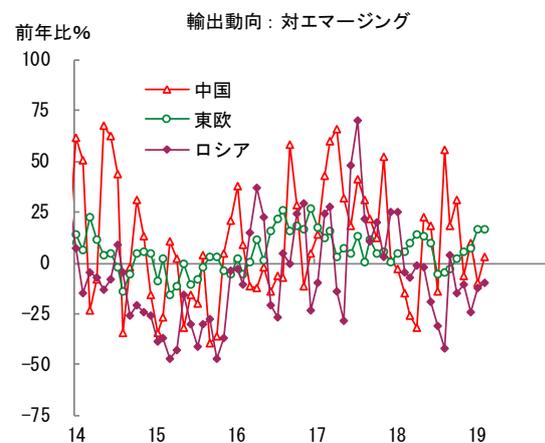
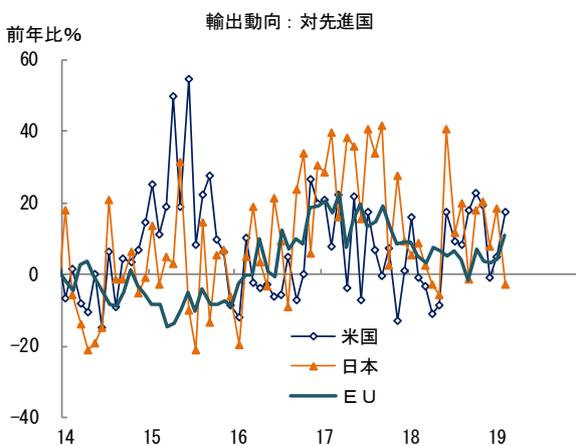
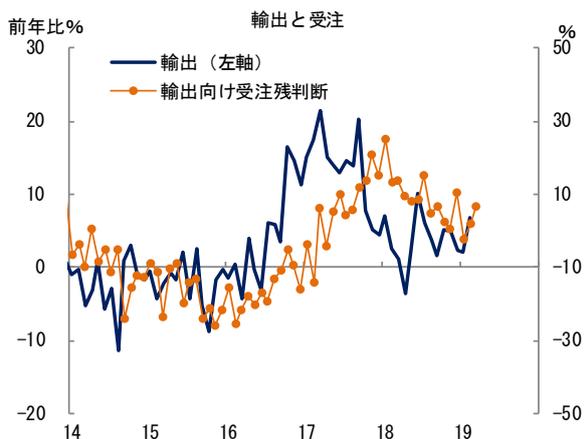
- 2月の輸出は前年比+4.4%、輸入は同+4.0%に加速。輸出入共に、工業製品、次いで食品・飲料・たばこの寄与が大きかった。輸出相手国別では、米国及び中国向けが好調を維持
- 2月の経常収支黒字は大幅な縮小となり、1月の大幅増加分がほぼ相殺された。主要因は、第一次所得収支の黒字縮小で、貿易収支、サービス収支も黒字が縮小した
- 2月の外国人投資家による対ユーロ圏証券投資は、債券投資は買い越し、株式投資は売り越しが続く



出所：Eurostat、ECB データより大和総研作成

## 英国 国際収支

- 2月の輸入は前年比+17.4%と17年5月以来の大幅な伸びを記録。機械・輸送機器及び原材料製品の寄与が大きかった。また、飲料・たばこは10年6月以来の高い伸びとなった
- 2月の輸出は前年比+6.9%に加速。機械・輸送機器及び燃料が大きく寄与し、化学製品も4カ月ぶりに同プラスとなった。輸出相手国別では、米国、EU、東欧向けが好調
- Q4の経常収支赤字は2四半期連続で拡大した。貿易収支及び第一次所得収支の赤字幅拡大が主要因。外国からの対英証券投資は、株式投資が3四半期ぶりの売り越しに転じた



出所：Eurostat、Haver Analytics、英国統計局データより大和総研作成